

長崎の海岸の問題を知ろう

学校名:南島原市立有家中学校 名前:田中正一

対象	1年生	単元名	自由と責任, 自然愛護
科目	道徳	目標	その1 SDG'sを知り, それに取り組む姿勢を育む その2 郷土の現状を知り, 関心を持ち, 改善しようとする態度を育てる その3 自然愛護の気持ちを育む
時間	1時間	参考資料	『あおいほしのあおいうみ』 ほか

期待できる学習効果

- ・その1 学習を通してSDG'sへの関心を高めることができる。
- ・その2 対馬の海岸にあるごみの現状を知り, 自分たちの郷土の海について考えることができる。
- ・その3 自然環境への思いを育て, 自分たちの生活を見直すことができる。

授業内容

- 1 SDG'sの確認をする
 - ・小学校でも学習している内容を再確認する。
- 2 「あおいほしのあおいうみ」から対馬の海岸の現状を知る
 - ・長崎県は海岸線が広く, 海外と海を隔てて隣接していることになることを知り, 海岸の漂流ごみの現状について知る。
 - ・自分たちの郷土の海岸についても, 現状を知り, 興味関心を高める。
- 3 自分たちの生活を見直し, 海岸のごみを減らすために何ができるか考える。
 - ・漂着ごみの現状を知り, 自分たちにできることはないか考える。
 - ・グループで話し合いをし, 解決につながると思うアイデアを出し合う。

長崎の海岸の問題を知ろう

学校名:南島原市立有家中学校 名前:田中正一

子どもたちの反応・感想

- 対馬のうみのごみが凄くて驚いた。自分たちの近くの海も同じようなことが起きてることを先生から聞いてびっくりした。
- ごみのポイ捨てをしないこと。
- ごみ拾いをするのが大事。ボランティア活動に参加したい。

